

科目：算数	分野：全体	(6年生)
～6年のまとめ～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

今までに習ったことのまとめをしよう。

今までに習ったことのまとめをしましょう。
もういちどおさらいすると、頭の中にきっちりのこります。
終わりよければすべてよし！です。小学校の算数のまとめをしましょう。



◆文章題の解き方

1. 問題文は声をだして2回は読むこと。
2. わかっている数を使って図や表を書くこと。
3. 図の中でいちばん役にたつのは線分図。
4. 図をじっと見よう。
5. 正しく式をたて、計算しよう。
6. ノートはぜいたくにたっぷり使おう。
7. あきらめない。

◆「単位量あたり」の考え方がわかれば、文章題がすらすら解ける。

単位量あたりの考えを使うものの例として、

- ・ 速さ（1時間あたりに走ることができる道のり＝時速）
- ・ 人口密度（1平方キロメートルあたりの人口）
- ・ 仕事量（1時間あたりにこなすことができる仕事）
- ・ 濃度（重さ100gの水溶液に溶けている物質の重さ）

などがあります。

◆濃度は、百分率で表す。

たとえば、100gの重さの砂糖水の中に、2gの砂糖が溶けていれば、
 $2 \div 100 = 0.02$ の式で求めることができ、2%の砂糖水であることがわかります。

$$\text{濃度} = \frac{\text{溶けているものの重さ}}{\text{水溶液の重さ}}$$

5%の砂糖水が100gあるとき、溶けている砂糖の重さは
 $100 \times 0.05 = 5$ の式で求めることができ、5gの砂糖が溶けていることがわかります。

$$\text{溶けているものの重さ} = \text{水溶液の重さ} \times \text{濃度}$$